

新庁舎の建設位置

錦江町旧フェリー駐車場用地



建設位置については、3つの候補地を設定し、4つの評価基準の内部・外部評価およびパブリックコメント（公表による意見の募集）の結果により、決定しました。基本設計では、その評価基準、決定までプロセスが示されています。

3候補地を4つの評価基準で評価

■ 3つの候補地

- ① 垂水市役所
- ② 垂水市市民館
- ③ 錦江町旧フェリー駐車場用地

▶ 候補地3か所は財政や整備スケジュールへの影響を考慮し、市または土地開発公社所有地を優先して検討されました。

■ 4つの評価基準

- ① 市民の利便性
- ② 計画の経済性と実現性
- ③ 防災拠点・安全性
- ④ まちづくりとの整合性

▶ 上記を3段階で評価
 ○：適している
 △：課題はあるが適している
 ×：適していない

決定までのプロセス

- 1 内部評価の実施
 - ▶ 市役所職員で構成する庁内検討委員会で評価
- 2 外部評価の実施
 - ▶ 学識経験者や市内関係団体の代表で組織される新庁舎建設検討委員会で評価
- 3 評価結果の公表
 - ▶ 評価結果公表し、パブリックコメントを実施
- 4 基本計画への反映
 - ▶ 評価結果・パブリックコメント踏まえて反映

評価結果集計（内部評価・外部評価）

評価	垂水市役所	垂水市市民館	旧フェリー駐車場
○	12	10	18
△	7	12	4
×	3	0	0

位置の決定について

Q 建設位置の評価について
どう思われましたか？

外部委員会では色々な意見が出ました。今回の旧フェリー駐車場用地については、海に近い点を不安視するご意見もありましたが、設計の対応により問題を克服できると考えています。他の多くの条件を含め、ここが妥当ではないかと判断をされていたので、私はこの場所であれば垂水市のこれからの街の発展と防災の両面で可能性があるのではないかと思いました。最終的には、多数決により評価しましたが、旧フェリー駐車場用地の位置があらゆる計画やスケジュールに柔軟に対応できる点、評価が高かったのだと思います。



基本指標3つの要素

新庁舎を使用開始する4年後（平成34年）を基準としています。

- ① 将来人口 **14,374人**
 - ▶ 「垂水市人口ビジョン」における供用開始時点の直近値である平成32年推計人口を採用しています。
- ② 将来職員数 **250人**
 - ▶ 新庁舎に入る職員数（特別職、正規職員、臨時職員）は供用開始時点で、現在の組織機構と変わらないものとしています。
- ③ 議員数 **14人**
 - ▶ 現在の市議会議員定数条例に定める人数としています。

床面積（延床面積）

上限値の目安 **6,000㎡**（現庁舎 4,623㎡）

▶ 総務省基準により算出。
※人口は算定に用いないものとし、想定職員数で算定されます。

計画されてる付加機能

窓口・相談室・執務室だけでなく、防災や生活に関わる付加機能も含まれています。主なもの／災害対策室、備蓄施設、多目的ホール、休憩スペースなど

敷地面積

上限値の目安 **10,000㎡**

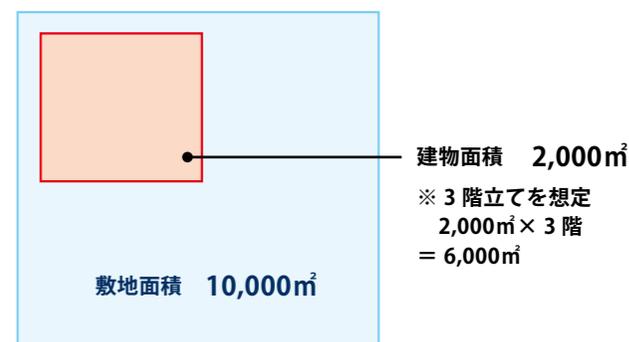
▶ 建物・駐車场面積、オープンスペース等の合計。
※将来人口を用い算出されます。

駐車場は倍以上

現庁舎駐車場は、窓口の繁忙期や議会中などに満車になることが多く、駐車場不足が課題です。基本計画では、来庁者駐車場は試算の結果、現在の30台から77台分のスペースを計画

新庁舎で計画する 土地・建物の規模

現庁舎の課題の一つとして、狭あい化（狭くゆとりがない）があげられています。新庁舎建設において計画される規模設定について、規模算出の指標・建物の床面積・全体の敷地面積が示されています。



規模設定について

Q 基本計画の規模設定について、どう思われますか？

庁舎面積については国土交通省と総務省の出している基準が異なります。総務省の基準と防災や生活に関わる付加機能を加えて6,000㎡は、あくまで上限値だと考えています。今後は設計事業者からの提案にもよりますが、ワークショップ等で出た市民の意見を踏まえ、必要な機能を組み込みながら、設計段階で面積削減の工夫が示されるといいですね。

